

事業シート4

課コード: 001505000
 担当組織: 資源廃棄物政策課

作成日: 平成24年4月1日
 責任者: 野中 敬

計画コード	基本政策	課	政策	目	事業	款	項	目	事項	款	項	目	事項
	07	03	0163	01	016304	16	16	12	10				

事業名: まち美化推進事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	23年度	24年度	比較
	66,715	50,527	16,188		2.1	2.1	0.0
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	3,064	43,703	101				3,659

事業の目的

安全、衛生的な地域環境を維持していくために、環境美化活動を推進する。

事業内容(平成24年度に何をやるか)

中事項

- ・不法投棄対策、処理事業
 不法投棄、不当排出に対して、啓発活動(不法投棄防止看板等の配布)による防止対策及び投棄物等を各種リサイクル法等に則った適正な処理をする。
- ・環境美化活動推進事業
 <事業シート11「ごみ減量・リサイクル推進事業」に統合>
- ・公衆便所維持管理事業
 市内の所管公衆便所を衛生的に維持管理する。
- ・道路側溝汚泥運搬処理事業
 道路側溝の汚泥を衛生的に運搬、処理する。
- ・路上死亡小動物回収事業
 路上等で死んでいる犬、猫などの小動物を回収する。

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

- ・不法投棄対策、処理事業
 不法投棄、不当排出に対して、啓発活動(不法投棄防止看板等の配布)による防止対策及び投棄物等を各種リサイクル法等に則った適正な処理をした。
- ・環境美化活動推進事業
 各種推進制度により、ごみ集積所の整備、管理及び地域環境の美化活動を支援した。
 環境美化推進員制度の再編に向けて自治会と調整した。
- ・公衆便所維持管理事業
 市内の所管公衆便所を衛生的に維持管理した。
- ・道路側溝汚泥運搬処理事業
 道路側溝の汚泥を衛生的に運搬、処理した。
- ・路上死亡小動物回収事業
 路上で死んでいる犬、猫などの小動物を回収した。
 上記事業を実施したことにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努めた。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
平成 *11 年	年	自治事務						
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計								
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	*H20は事業仕分け							

(単位:千円)		H22	H23	H24	H25計画	H26計画	H23～26計
事業費	予算	65,727	66,715	50,527	50,527	50,527	218,296
	決算	60,880	62,092				62,092
財源内訳	国・県支出金						0
	市債						0
	その他						0
	一般財源	60,880	62,092	50,527	50,527	50,527	213,673
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)		0	0				0
人件費		19,600	22,400	22,400	22,400	22,400	89,600
内訳	人工(正規)	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	
	人工(非常勤)	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
	人工(再任用)						
年間経費(事業費+人件費)		80,480	84,492	72,927	72,927	72,927	303,273

成果指標1 啓発活動、環境美化に関する活動の結果を不法投棄件数の減少等と相対評価する							
種類	アウトカム(成果指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	%	100	100			
	実績	%	100	100			

成果指標2							
種類		単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標						
	実績						

事業の成果(平成23年度末での目的の実現状況 活動ではなく状態)

- ・環境美化推進員制度の再編に向けて自治会と調整し、ごみ出し制度の統一に向けて自治会へ説明した。
- ・不法投棄されそうな地域を監視パトロールし、啓発を図った。また、庁外関係部署を含めた連絡会議で防止に向けて連携を深めた。
- ・公共用地に不法投棄、ごみ集積所に不当排出された家電製品が平成21年度には639台、22年度には345台、23年度には605台あり、投棄者不明の家電製品を適正処理するため、これらの家電リサイクル料金を負担した。
- ・民間委託により、市民が取り除いた道路側溝汚泥を衛生的に収集運搬し処理した。
- ・民間委託により、路上等の犬、猫等の小動物の死体を回収し斎場へ搬入した。回収件数は平成21年度は4,592件、22年度は4,768件、23年度は4,502件である。

評価(平成23年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(廃止した場合に考えられる影響)

市民の衛生的な生活を維持するために継続する必要がある。

(2) 責任主体: 市

(市が実施しない場合に考えられる影響)

市民の清掃や通報等の協力を得て、市が実施主体として活動する必要がある。

(3) 拡大・縮小: 現状

(理由)

環境美化推進員制度の全市統一する。

(4) 改善: 協働

(理由)

市民の清掃や通報等の協力を得て取り組む。

今後の方向性 改善

不法投棄の対策への取組みや環境美化活動の見直し等を検討する必要がある。

改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成24年度予算で反映したものを含む)

不法投棄や不当排出の発生抑制を図るため、不法投棄防止パトロール班に非常勤職員1名を増員し監視業務を強化した。

不法投棄や不当排出の多発地域を重点的に監視するようにした。

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

補足シート4 -

	款	項	目	事項	
予算コード	16	16	12	10	05

事業名: 不法投棄対策・処理事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	4,646	5,348	702					
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
	2,235	1,201					1,912	

事業内容(平成24年度に何をやるか)

廃棄物の不法投棄、不当排出に対して、啓発活動や不法投棄防止パトロール等を実施し、不法投棄された廃棄物は廃棄物処理法等に則した適正な処理をする。

・主な事業費の内訳

警告ステッカー(集積所におけるルール違反への貼付用)印刷、不法投棄された家電リサイクル料金の支出、廃タイヤ等、市で処理できないもの(不法投棄物)の処理委託

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうなったか)

・不法投棄されそうな地域を監視パトロールし、啓発を図った。
 ・公共用地に不法投棄、ごみ集積所に不当排出された家電製品が平成23年度には605台あり、投棄者不明の家電製品を適正処理するため、これらの家電リサイクル料金を負担した。

・主な事業費の内訳

警告ステッカー(集積所におけるルール違反への貼付用)印刷、不法投棄された家電リサイクル料金の支出、廃タイヤ等、市で処理できないもの(不法投棄物)の処理委託

補足シート4 -

	款	項	目	事項	
予算コード	16	16	12	10	10

事業名: 環境美化活動推進事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	19,914	0	19,914					
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
							0	

事業内容(平成24年度に何をやるか)

事業シート11「ごみ減量・リサイクル推進事業」に統合

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうなったか)

・地域の環境美化推進員等の指導により、分別の徹底が図られた。
 ・環境教育の一貫である小学4年生向けの社会科副読本の来年度版の作成に向けて編集委員会を開催している。

補足シート4 -

	款	項	目	事項	
予算コード	16	16	12	10	15

事業名: 公衆便所維持管理事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	2,434	2,295	139					
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
	425	1,247	101				522	

事業内容(平成24年度に何をやるか)

鍛冶町公衆便所の清掃を年間365日行い、使用水量の確認や衛生器具等の点検を月3回行うもの。

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうなったか)

日々の清掃維持管理業務により公衆便所を適正に維持することができた。

補足シート4 -

	款	項	目	事項	
予算コード	16	16	12	10	20

事業名: 道路側溝汚泥運搬処理事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	31,426	31,985	559					
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
	404	30,356					1,225	

事業内容(平成24年度に何をやるか)

市民、自治会の協力により地域の道路側溝を清掃する際に、道路側溝から排出し、道路脇等に仮置きした汚泥を、委託業者は、市が作成した収集計画に従って収集し、平和最終処分場へ搬入する。

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうなったか)

市民、自治会と協働して、道路側溝が清掃され、それらを衛生的に収集運搬することにより、地域の環境美化が維持できた。

補足シート4 -

	款	項	目	事項
予算コード	16	16	12	10 25

事業名: 路上死亡小動物回収事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	8,295	10,899	2,604					
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	0
		10,899						

事業内容 (平成24年度に何をやるか)

道路、公園等の公共用地上の犬、猫、たぬき、鳥等の動物の死体を回収・運搬し、斎場まで搬入する。

これまでの取組状況 (平成23年度に何をを行い、その結果はどうなったか)

道路、公園等の公共用地上の犬、猫、たぬき、鳥等の動物の死体を回収する事業として、民間委託により適正に処理し、地域の環境美化が維持できた。
平成21年度は4,592件、22年度は4,768件、23年度は4,172件(平成24年2月末現在)である。